

令和3年度第1回 苫小牧市スポーツ推進審議会結果報告書

【日時】 令和3年10月27日（水）18時～19時

【場所】 市役所9階議会大会議室

【出席】 ▽苫小牧市スポーツ推進審議会委員 10名（12名中）
本間会長、藤岡副会長、阿部委員、池田委員、小松委員、澤井委員
鈴木委員、中村（誠）委員、中村（峰）委員、山根委員

▼事務局（市）

福原副市長（公務のため途中退席）

総合政策部 : 木村部長

まちづくり推進室 : 柴田室長

スポーツ都市推進課 : 畠山課長、奥井主査、寛那見主査、植村主事、
荒谷主事、丸谷主事、佐藤主事、脇坂主事、
大村主事

～～～議事内容（審議経過・意見・質問等）～～～

1 開会（会長選出まで畠山課長の進行）

2 委嘱状の交付

3 市長挨拶（福原副市長）

4 委員及び職員自己紹介

5 会長・副会長の選出

本間会長、藤岡副会長を選出

6 議事（進行：本間会長）

以下の質疑・意見については、▽は委員発言、▼は事務局発言

(1) 苫小牧市スポーツ推進審議会・苫小牧市スポーツ推進計画について
(※事務局から説明)

- 審議会の根拠となる法令、推進計画の概要を説明（資料1～3参照）

(2) 苫小牧市のスポーツについて（※事務局から説明）

- スポーツ都市宣言について説明（資料4参照）
- 市で所有するスポーツ施設について概要と利用者数を説明（資料5を参照）
- 推進計画に掲載している施策の令和2年度実績と令和3年度実績・予定を説明（資料6を参照）
- スポーツ推進計画改訂版（概要版）について説明

▽中村（誠）委員

スポーツ推進計画の方で、スポーツをする人という形で数値目標が設定されているが、統計を取り始めた平成26年と令和2年度の結果を見て全体的に数字が全部下がっているのは、コロナの影響とみているのか。

▼事務局

全体的な人口減少、コロナ禍における施設の閉館や利用制限が利用者の減少に影響していると考えている。

一方で、特に大きく増加傾向にあるのがサッカー場。人工芝2面を新たに整備し、ナイター設備も整え、夜間の利用もできるようになったことや、屋外施設ということもあり、利用が伸びている状況である。

(3) 「第16回全国高等学校選抜アイスホッケー大会」開催に伴う新型コロナウイルス感染者の発生状況について（※事務局から説明）

- 大会概要と経過について説明（資料7参照）

▽鈴木委員

大会開催にあたり、医療機関や保健所にあらかじめ相談はされていたのか。

▼事務局

保健所に相談はしていた。

▽鈴木委員

保健所は聞いていないようなことを言っていた。

医療機関に事前に協力、相談が無かったというふうに聞いていたのだが。

▼事務局

感染対策については、事前に相談をしており、当然発生者が出た場合には、保健所の方に支持を仰ぎ対応させていただいたが、大会実行委員会の基本方針の中で、発生者が出た場合の具体的な対応については不足していた。

▽鈴木委員

選手は夜に熱発し、その時点で相談する場所が無くて半日待ってしまった。その時に保健所や医療機関にあらかじめ連絡を取れていればアドバイスできたのではないかと、関係者から聞いている。

今回の11月3日のマラソンイベントについても、怪我をした時の応急処置やコロナ対策というのは、あらかじめ医療機関や保健所に相談されているのか。

医療機関は休みなので、王子病院や市立病院、あるいは医師会にあらかじめ相談をした方が対応が早いと思う。

主催がアールビーズであるならば、相談されているかもしれないが。

▼事務局

主催者に改めて確認をさせていただく。

▽池田委員

今大会の開催にあたっては、大会基本方針や日本アイスホッケー連盟のガイドラインを含めて対応したが、結果としてこのような形になり我々自身も反省をしている。

この結果をふまえ、日本アイスホッケー連盟、北海道アイスホッケー連盟で対応マニュアルを策定した。一例として、ジャパンカップや女子のスマイルジャパンの試合等、市外から大勢の選手が来る場合については、選手や役員全て抗原検査を実施し大会運営をしている。

今後についても、アイスアリーナを管理する方々と相談をしながら感染者を出さないよう取り組んでいきたいと考えている。

▽本間会長

帯広や釧路等のリンクについても、日本アイスホッケー連盟が策定したガイドラインに沿い、北海道アイスホッケー連盟と協議しながら、サーキュレーター等を設置している。

日本アイスホッケー連盟の強化合宿等に関しては、無観客の中でPCR検査を実施し、また、市内から集まる日帰りキャンプというものもあるが、それに関しては抗原検査を実施している。体調が崩れた時には最寄りの医療機関に相談するよう指導しながら、合宿を進めている。

次年度の全国高等学校選抜アイスホッケー大会については、今後の対策を練

りながら、開催できるように進めていきたいと考えている。

▽小松委員

私は陸上競技に携わらせていただいているが、この一件があった8月末に中学生の新人戦の大会があった。ニュース等で報道されていたが、どういう感染対策をして、このようになったのか詳しい状況がわからなかった。

陸上競技も2週間前から健康チェックをしている。そのような中で、なぜ感染が広がったのかという不安が大きく、出場を諦めた選手もいる。陸上競技は屋外であるため心配はないと言われるが、親も観戦できない状況が続いており、選手である子ども達がすごく可哀そうである。全道大会等も中止となった。

せめて大会主催者にだけでも良いので、状況説明や安全対策等の情報を提供していただければ、皆で共有することができ、苫小牧陸上競技協会も選手も安心して大会に参加することができるのではないかと考えている。

▼事務局

現在、国立感染症研究所でアンケートのとりまとめを行っており、最終結果は報告されていないが、原因がはっきりとわからない部分が正直ある。

どういう状況で感染したのか、施設での対応を今後どうしていくのか、現在も検証しているところである。

屋内、屋外競技によって対策も変わる可能性があるが、今回の状況の報告や各競技で気をつけた方が良い内容等について情報共有を図りたいと考えている。

▽中村（峰）委員

様々な対策に取り組まれているのは理解できるが、それでも感染してしまう場合はあると思う。

鈴木委員の意見のように早い段階で専門家、医療機関等に連絡できる体制を整えておくことが間違いないのではないかと感じている。

▼事務局

スポーツ大会や行事等は週末の開催が多いため、今後また保健所や医師会等に相談したいと考えている

(4) 苫小牧市スポーツ施設整備計画について（※事務局から説明）

- スポーツ施設整備計画（概要版）について説明

(5) 次回の審議会について（※事務局から説明）

- 次回開催は令和4年3月予定

7 その他

8 閉会（畠山課長）